

スリヤ・ピーク (SURYA) 5,145m

2016-12-23～2017-1-7 田中 規雄



いまさらの報告である。2018年正月のネパール山行を遂行するにあたり、昨年実施したことを少し整理する意味でここに発表するのだった。ごく普通のトレッキング報告ではあるが、ネパールの「ほんの一端」を感じてもらえれば幸いである。

12月23日

4時30分起床。目覚ましより早起き。5時30分自宅を出る。札幌発6時02分始発のJRに乗る。席は埋まって座れない。次発にすれば良かった。始発は混むのが相場。そう言えば、利尻島行きのフェリーもそうであって、私はよく次発に乗船する性質なのだった。

新千歳空港では、昨日大雪のため、国際線のフライトのキャンセルが多くあった。空港は昨日の客がごった返している。私が乗るべきフライト（大韓航空）もすでに2時間遅れの表示。飛ぶのか（？）間に合うのか（？）。確認をしたくとも担当者が少なく聞けない。昨日の14時発フライト（キャンセルだった）の代替便が先発するので、これに振り替えることが出来た。しかし10時発とのこと（結局飛んだのは12時）。もはやインチョン空港でのトランジットが間に合わないことが決定。インチョンからカトマンズは毎日フライトがない。し

たがって、2日間インチョンでブラブラしなければならない。「焼肉そんなに好きではないのでね～」などと、とりあえず呆ける。ところが、インチョン空港で「インチョン→バンコク」のチケットを用意すること。もちろん「バンコク→カトマンズ」はタイ航空便である。太っ腹だわ、大韓航空。バンコクでのホテルも大韓航空が用意してくれた。1日遅れのカトマンズ着ではあるが、まあ良い経験ではある。しかし、ツルー（ガイドの名）への連絡手段がないので、カトマンズでツルーが待ちぼうけでスマン、スマン。24時過ぎにヘトヘトになってバンコク着。

12月24日

7時に頼みもしないモーニングコールがあった。気が利いている。7時30分朝食。空港内に設置されている無料のPCでツルーに連絡する。こんなPC（ボロイ）を使用するのは日本人のおっさんとおばさんだけである。他の客はFree Wi-Fi でグイグイ通信している・・・グイグイと表現しているあたりが、すでにおっさんである。

カトマンズにようやく到着。ツルーにすまぬ、と詫げる。「携帯電話持っていないのか？」と言われるが、ツルー家の電話番号知らないし・・・。昨年泊まったアンナプルナ・ゲストハウス宿泊。シャワー、トイレ付きとはいえ、1人1500Rsは高過ぎである。ツルー家にデポ品（登山靴やらヤッケやら）の回収に行く。回収作業10分で終了。今回は本格登山ではないため、ダンラインやらテント、食料の確認作業なし。ビール飲んで、ツルー家で夕食をご馳走になる。宿をツルー家の近隣に取る。日本人には全くの穴場。

12月25日

6時にツルーが迎えに来た。外はまだ真っ暗である。ニュー・バスパーク（ランタン方面はここが始発）へ向かう。「ニュー」と表記しているが、「ニュー」も「オールド（クーンブ方面はここが始発）」も変わらない。カトマンズ名物（？）の焚き火が味わい深い。三菱パジェロ風のインド製「TaTa」で行く。貸切りと思いきや、でかいドイツ人（スキンヘッド）とその子供（13歳）やら乗り込んできて、



運転手込みで11人乗車。微動出来ず、床ずれが出来るかと心配である。ダウンチェには4時間ほどで到着。ローカルバスなら7時間か（？）。

ダウンチェより30分ほどのバッチィ（食事付き宿）を予定していたが、観光季節ではないので閉めてしまったとのこと。確認してこないのがネパールらしい。仕方がない（？）ので、ネパール人専用の宿に泊めさせてもらうが、先のでかいドイツ人も一緒にさせてくれと言っ

てきた。それは構わないが、ソーセージもビールもないのだよ・・・結果、彼は夕飯食べませんでした。ダルバードを食べる私に向かって「（ソナモノヲタベル）ニホンジンハスゴイ！」みたいなことを言われる。この先、このドイツ人親子とは終止同じ宿となる。

宿の親父の口辺りの肉が削げ落ちていた・・・ライ病（？）と思ったが、18歳の頃に熊に襲われたとのこと。「熊のエリアに人が行くのが悪い」と達観していた。そんな話を囲炉裏の傍でロキシー（ネパール焼酎）飲みながら語らう。ロキシーは悪酔いする粗悪なものもあるが、このロキシーは二日酔い知らず。が、深夜、トイレに行く際、大転倒し捻挫（骨折したかと思った）。夜。降雪あり。

12月26日

8時出発。シンゴンパまで4時間のビスターリ（ゆっくり）な行動とのこと。途中、生理現象「黄金の祭典（ゆるい）」で草むらでゴソゴソしていると、先のドイツ人親子に見られる。ちなみに、この日のドイツ人親子の昼メニュー。スキンヘッドの親父「マッシュルームスープとハーブ茶（L）」・・・解脱者（？）。その子供「コーラとフライドポテト」・・・出たよ、ドイツ！・・・なのであった。シンゴンパ15時30分着。結構時間要する。シンゴンパにはその他西洋人5～6人。日本人なし。ダルバード450Rsなり。

12月27日

夜、トイレのため起きるが洋式トイレの便座が壊れていた。どうやって座るのか（？）。こういうのはネパール式が応用故障なく良いのだが。間違って洋式トイレに紙を捨ててしまった。やはり流れず泣く。8時30分出発。10時30分に昼食のためバッチェ立ち寄るが待てども暮らせどもダルバード来ず。12時やっと来る。13時出発。ビスターリ（ゆっくり）文化である。14時30分ラウルビナヤク着。「ラウルビナ」とは「ここで杖を置く」・・・つまり「ここで止まり、礼拝しないさい」という意味だそう。ここでネパール人の若者3人と同行となるが、3人中ザックを持っているのが1人で非常に薄着・軽装。ゴサイクンドまで行くのだそうだが、それは無理だろうと思う。日本のアニメが好きで「ワン・ピース！」などと言われるが、スマンよ、そのアニメ読んだことないのだった。主人公「ルフィ」だっけ（？）。ダルバード480Rsなり。

